



野生と家畜のリバランス — 中国の鵜飼い漁におけるカワウと人間 —

発表者: 卯田宗平 (東京大学ASNET機構/東洋文化研究所)

日時: **2013年2月22日(金) 16時より**

場所: **京都大学 稻盛財団記念館 3階中会議室**

「生業としての鵜飼い漁において、カワウは生産の対象ではなく漁獲の手段である。そのため、カワウが家畜化によってもたらされるという“従順さ”や“攻撃性の減退”、“矮小化”といった特徴を強化されては困る。その一方、人間とカワウとの親和性が確立されていなければ狭い船上でカワウを大量に飼育することができないし、首結いを付けることすらできない。鵜飼い漁ではカワウに対して一見すると矛盾する二つの要求があるといえる。こうしたなか漁師たちはカワウとどのような関係を築いているのであろうか—」
(発表要旨より)



参加費・事前登録は不要です。

奮ってご参加下さい。また、会后には懇親会を予定しております。

<お問い合わせ先>

大出 京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科
oide@asafas.kyoto-u.ac.jp

柳澤 京都大学地域研究統合情報センター
masa@cias.kyoto-u.ac.jp